

HOPE レポート増刊号

「新しい大人文化」創造のヒント（公式）を発表します。

開け、ひま。

博報堂エルダービジネス推進室では、少子高齢化する日本の活性化のための具体的な提案コンセプトブック「開け、ひま。～新しい大人文化の公式～」を博報堂研究開発局、博報堂生活総合研究所と共同で制作いたしました。

少子高齢化社会とは30代以上がかつてないボリュームゾーンの国になるということです。エルダービジネス推進室では、そのキーとなる50代以上の生活者を、「新たなライフスタイル」を求め、生み出し、「新しい大人文化を創り出す“主役”」であると位置づけました。この人たちは高齢を意味する言葉では呼ばれたくないかもしれません。「新しい大人」としてこれから市場全体を変えて行く可能性を持った人たちです。この人たちに、どんなモノ・サービスが求められるのか、若い世代にも響く価値創造が求められています。そのヒントをコンセプトブックとしてまとめました。

個人消費の回復は、お金のあるエルダー世代が握っているとも言われますが、従来のシニア向け・高齢者向けでは、なかなか動かない人たちでもあります。この人たちを動かすための公式です。



「新しい大人文化の公式」とは、まず企業と市場の中にある既成概念を再考することから始まります。豊かな時間を求めるエルダーたちの真のニーズを捉え、“いま足りないもの”“未来の価値”を探していく。新しい大人の文化の公式とは、人々を「新しいあこがれ」へと導くプロセスです。

博報堂エルダービジネス推進室では、今春、団塊世代を中心とした50代に関するレポート「JEANS 50S(ジーンズ・フィフティ) ~50代レポート2003~」を発表し、「新しい大人文化」をこれからのキーワードに、エルダー社会のありようについて考え、提案してまいりました。今回、ご紹介申し上げます「開け、ひま。~新しい大人文化の公式~」は、その第2弾、「具体的な商品・サービスについてのヒント」です。

エルダーの規定(博報堂エルダービジネス推進室による)

50歳以上の高齢者を「エルダー」と規定

導入期	50~64歳
本格期(高齢者)	65歳以上
前期高齢者	65~74歳
後期高齢者	75歳以上

これまで発行したHOPEレポート

1. HOPE レポート ニューエルダーの登場 (2001年5月・既報)
・ニューエルダーの登場 エルダー世代関係づくりのキーワードは「情報縁」
2. HOPE レポート 情報縁:つながる場 (2001年7月・既報)
・ユニバーサルデザイン
3. HOPE レポート 情報縁:つながる関係 (2001年8月・既報)
・エルダーの人間関係
4. HOPE レポート 情報縁:3世代コミュニケーション
エルダーの「子供」「孫」とのコミュニケーション (2001年9月・既報)
5. HOPE レポート 「エルダー層のお金に対する意識調査」 (2001年11月・既報)
6. HOPE レポート つながるメディア「ラジオとエルダー」 (2001年11月・既報)
7. HOPE レポート 「エルダーと旅」 (2002年3月・既報)
8. HOPE レポート 「50代調査速報」 (2002年7月・既報)
9. HOPE レポート 「HOPEサーベイ速報:エルダーとパソコン・携帯電話」
(2002年10月・既報)
10. HOPE レポート 「50代 60代 1600名のお金に関する意識データ」 (2003年3月・既報)
11. HOPE レポート増刊「『新しい大人文化』創造のヒント『開けひま』」(今回)

博報堂エルダービジネス推進室のホームページ

<http://www.h-hope.net/>

これまで発行したHOPEレポートを全てご覧いただけます。

* このニュースリリースは高齢者も読みやすい11ポイント以上の文字を使用しています。

(11ポイントは、これ以上小さくなると読みにくくなる限度です)